

栄養学科 2022 年度卒業生に関する企業へのアンケート結果

1. アンケートの目的

栄養学科では、学修成果(到達目標)として、「基礎力」、「実践力」、「人間関係力」、「生涯学習力」、「地域理解力」の五つの項目を挙げている。この学修成果の各項目について、その到達状況を把握するとともに改善点を検討する。

2. 方法

2-1 調査項目

アンケートの調査項目を表 1 に示す。調査項目は、学修成果(到達目標)の各項目とし、設問は、できるだけ直接的な設問とした前年度実施調査と同じ質問票を用いた。

2-2 調査対象

調査対象は、2022 年度(2023 年 3 月)に卒業した学生の就職実績のある企業で、学生総合支援センターで選択した 10 社とした。

2-3 調査期間及び回答方法

調査期間は、2024 年 2 月末～3 月末の約 1 か月間とした。調査は、学科で作成した依頼文書を 2024 年 2 月、学生総合支援センターから調査対象企業の人事担当部署宛て送付し回答を依頼した。回答方法は、依頼文書で案内したマイクロソフトフォーム上に作成した自記式アンケートフォームへの入力とした。

3. 結果

毎年卒業生が就職している企業 10 社を対象に、2023 年 3 月に卒業した卒業生(2022 年度卒業生)に関するアンケートを 2024 年 2 月に依頼し、9 社から回答を得た(回答率 90%)。アンケートの各項目の結果を、図 1 に、自由記載欄の結果を表 2 に示す。

アンケートの回答は、(とてもそう思う)、(ややそう思う)、(あまりそう思わない)、(まったくそう思わない)の 4 項目からの選択とし、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を肯定的な回答、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を否定的な回答として評価した。

すべての設問項目で、肯定的な回答が優位であった。否定的な回答は、「4. 基本的な調理技術が身につけている」、「6. 基本的な礼儀作法が身につけている」、「10. 自分で問題点や課題を見つけることができる」、「11. 栄養士の立場で、職場や地域社会に関わっている」の 4 項目で認められた。そのなかで、「10. 自分で問題点や課題を見つけることができる」の項目では「とてもそう思う」の回答がなかった。自由記載欄では、コミュニケーション能力に関するコメントが 4 社からあった。そのうち 1 社は肯定的な意見の記載であったが、要望としては幅広い年代とのコミュニケーション能力の向上が期待されていた。

本調査の調査項目は、2021 年度卒業生を対象とした前年の調査と同じ様式と内容で実施した。調査項目別では、「1. 一般的な教養と知識が身につけている」は、(とてもそう思う)の割合が増加した。

「2. 栄養士に必要な基礎知識が身につけている」は、(あまりそう思わない)はなくなったが、(とてもそう思う)の割合は減少した。

この二つの項目は、学修成果の【基礎力】一般教養並びに各専門分野の基礎的能力にあたり、この基礎力については、際立った変化は認められないと判断された。

「3. 責任をもって仕事を行うことができる」は、(とてもそう思う)の割合が増加した。

「4. 基本的な調理技術が身につけている」は、(あまりそう思わない)の割合が減少した。

「5. 基本的な衛生管理を行うことができる」は、(とてもそう思う)の割合が減少した。

この三つの項目は、学修成果の【実践力】各分野の実際の場面に対応できる力にあたり、この実践力については、2 項目が前進、1 項目が後退と、後退した項目もあるが、ゆるやかな改善方向にあると判断された。

「6.基本的な礼儀作法が身についている」は、前年にはない(あまりそう思わない)の回答があった。また、(とてもそう思う)の割合は減少した。

「7.コミュニケーション能力がある」は、(とてもそう思う)の割合が減少した。

「8.他者と協力して仕事を行うことができる」は、(とてもそう思う)の割合が減少した。

この三つの項目は、【人間関係力】専門職・社会人として必要なコミュニケーション能力にあたり、いずれの項目も否定的な回答はなかったが、(とてもそう思う)の割合が減少した。この結果は、際立った変化ではないものの、後退傾向を示していることから、今後注視する必要があると考えられた。

「9.知識と技術の習得に積極的である」は、(とてもそう思う)の割合が減少した。

「10.自分で問題点や課題を見つけることができる」は、(とてもそう思う)の回答がなくなった。

この二つの項目は、【生涯学習力】生涯にわたって学び、成長できる力にあたり、いずれの項目も(とてもそう思う)の回答の割合が減少した。また、(あまりそう思わない)の回答は前年と同数であり解消は認められなかった。さらに【生涯学習力】については、昨年実施したアンケートにおいても今後学修力の低下が深刻化する懸念のある注視すべき項目として取り上げた。今回の結果については、際立った変化ではないものの、後退傾向を示していることから学生の就職先からのニーズとして認識し新たな教材の提供や教授方法の改善を継続的に行っていく必要があると考えられた。

「11.栄養士の立場で、職場や地域社会に関わっている」は、(とてもそう思う)の回答の割合が増加したが、(あまりそう思わない)との回答があった。この項目は【地域理解力】地域・文化の多様性を理解し、地域に貢献できる力にあたり、回答の幅が広がった。地域理解力の向上については、継続的な学習により、地域で変化する課題や特性を理解する必要がある。その点で、【生涯学習力】とも共通の課題と認識することができる。この点で前述の継続的な授業方法の改善は授業環境の最適化等と合わせ検討していく必要があると考えられた。

自由回答で多く寄せられた意見は、コミュニケーション能力についての課題が上げられる。従前から、コミュニケーション能力については、栄養士はその仕事先に応じ他職種のスタッフとの協働作業が必要である旨を講義のみでなく、実験、実習においてもコミュニケーションを視野に入れた授業を展開している。他職種連携の例としては、こども園で給食を実施する場合、保育士・調理師等との連携、で食育、食物アレルギー対策を確実に実施する必要がある。また、医療機関においては、医師、看護師等医療従事者との連携で、二次予防、三次予防に貢献する栄養管理が要求されるなどそれぞれに応じたコミュニケーション能力を意識した授業を行っている。しかし、世代間のコミュニケーションについては、学生同士が同じ世代で構成されており、対教員とのコミュニケーションも限界がある。この点については、具体的に他職種理解の場で必要な専門用語の理解、時間や場所等を踏まえた適切なコミュニケーションスタイルの選択などの指導を行っているが、それに加え、世代間のコミュニケーションに必要な適切な言葉選びや共感や理解の意思表示について意識した授業の展開を行う必要があると考える。

表1 アンケート様式

仙台青葉学院短期大学栄養学科卒業生に関するアンケート

貴社で雇用された本学栄養学科卒業生についてお尋ねします。
 本学卒業生（令和5年4月就職）の能力・資質について、現時点での評価をお願い致します。
 下記の4段階評価より一つ選択し、該当する番号に○を記入願います。

選択4段階

(4) とてもそう思う (3) ややそう思う (2) あまりそう思わない (1) 全くそう思わない

	項目	評価			
		4	3	2	1
1	一般的な教養と知識が身についている	4	3	2	1
2	栄養士に必要な基礎知識が身についている	4	3	2	1
3	責任をもって仕事を行うことができる	4	3	2	1
4	基本的な調理技術が身についている	4	3	2	1
5	基本的な衛生管理を行うことができる	4	3	2	1
6	基本的な礼儀作法が身についている	4	3	2	1
7	コミュニケーション能力がある	4	3	2	1
8	他者と協力して仕事を行うことができる	4	3	2	1
9	知識や技術の習得に積極的である	4	3	2	1
10	自分で問題点や課題を見つける事ができる	4	3	2	1
11	栄養士の立場で、職場や地域社会に関わっている	4	3	2	1
12	要望（身につけて来て欲しい事や気づいた事）などございましたら、こちらにご記入下さい （自由記述）				

貴社名 _____

回答された方の部署名・役職名 _____

ご芳名 _____

図1 企業アンケート結果

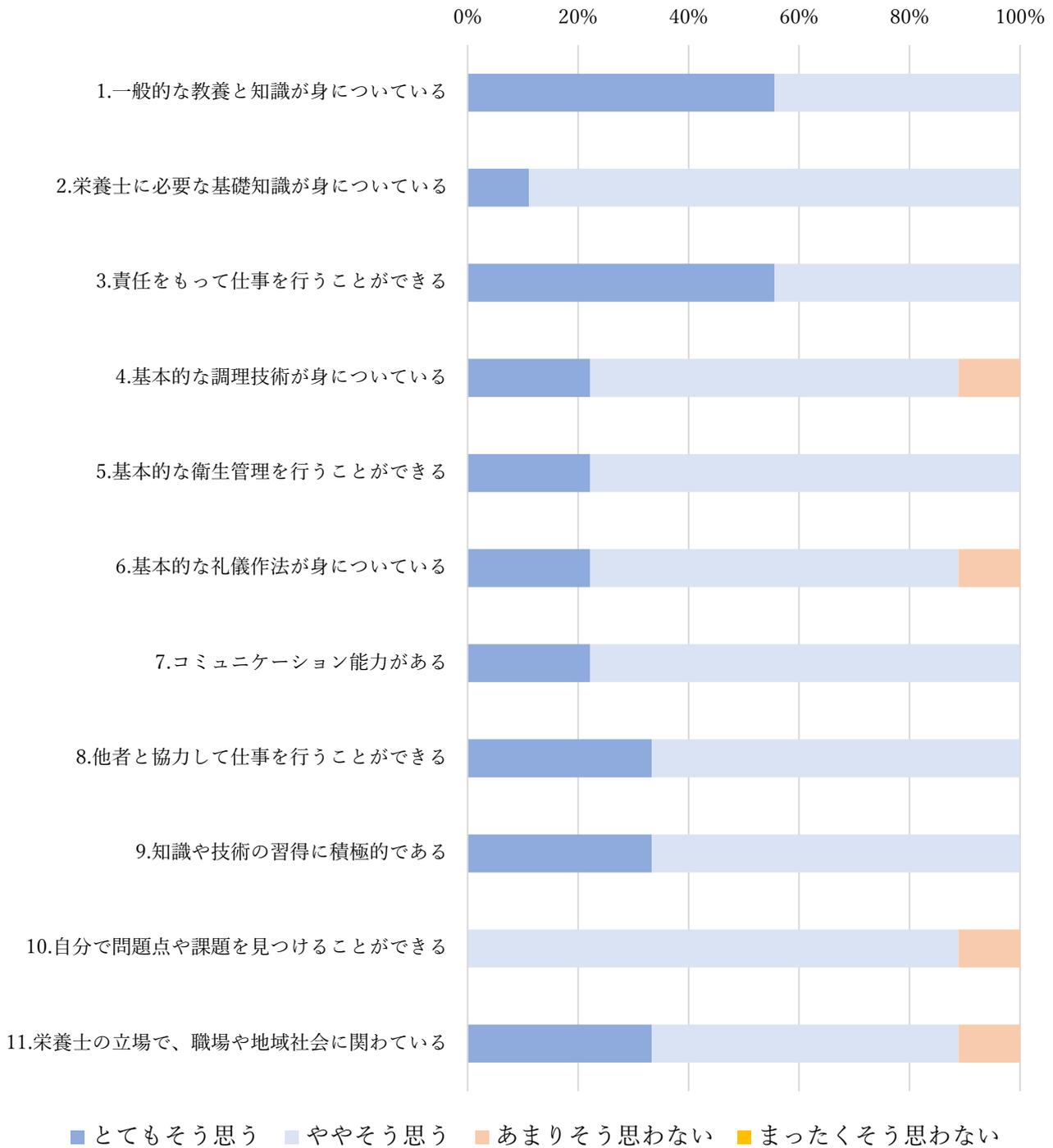
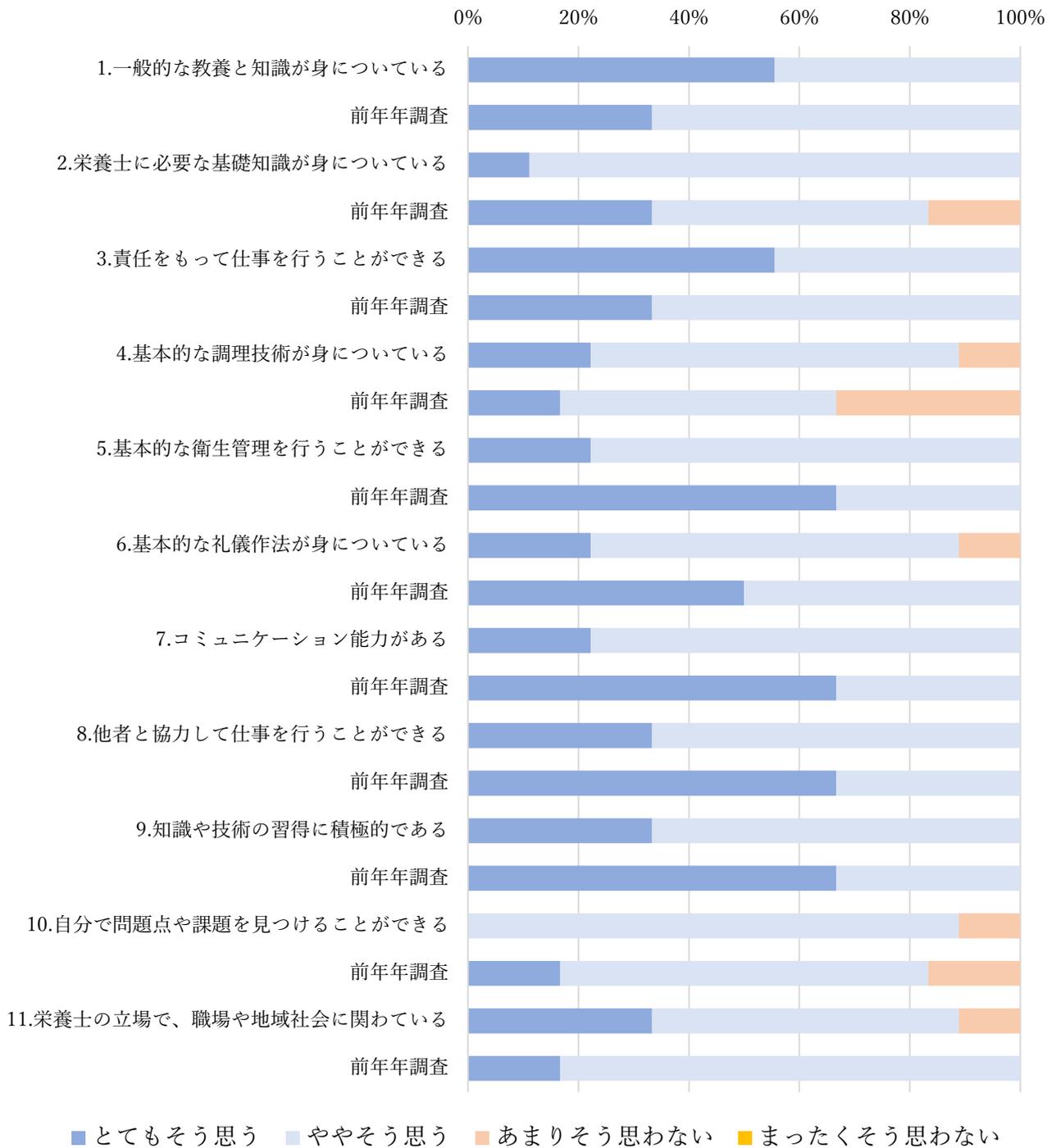


表2 自由記載欄の記述回答

12. 要望(身につけてきてほしいこと、気づいたこと)など(自由記述)

- コミュニケーション能力 継続力
- 幅広い年代と働くことを想定して、友人以外の人とのコミュニケーションをとる機会があるとよいと思います。入社後の報告、連絡、相談もしやすくなります。
- 貴校の学生様は真面目な方が多く、特に要望はございません。
- 当社に入社いただいた卒業生は皆活躍していただいておりますので、引き続き今後とも宜しくお願ひ申し上げます。
- 特になし。ご入社いただいた皆さんそれぞれの現場で、頑張ってもらっています。
- 貴学から来ていただく学生さんは意欲もありコミュニケーション能力が高い方が多く、評判が大変良いです。今後ともぜひ多くの学生さんに弊社に来て頂きたいと考えております。
- コミュニケーション能力を身につけてほしい。(年齢の離れた方々と一緒に仕事をするため)
- 必要最低限の包丁の使い方は、身につけてほしい。

図2 企業アンケート結果（前年度との比較）



謝 辞

本調査にご協力いただきました、各企業総務・人事担当者様を始め関係部署の皆様へ深謝いたします。いただいた意見は、栄養学科の学生教育の改善に資するほか、学生の成長の手助けとなる貴重な意見と受け止めております。今後も頂いた意見を真摯に受け止め、より良い学修成果の達成に努力してまいります。再度、就職先企業の皆様へのアンケートへの協力に心から感謝申し上げます。
 仙台青葉学院短期大学 栄養学科